

たまご、の、あなた

木村藍

きょうの夕食は何だったときのうに聞く

／何を言ってるんです、ツツジのおひたしをつくっておいたでしょう／
そうだ、きのう、ツツジを蒸したら、ハチミツの香りがするだろうと思って
蒸籠にほうりこんだまま

あす蓋を開けたら雨の匂いがする

あなたのはなしは風景のない迷路のように退屈で
ナイロンのまつ毛が石油に戻るところを想像する

あなたのまつ毛はナイロンでできている

／シルクだったら、いいのに／
そういつてあなたはわたしのところをピンでとめた

そうだ、

我々は確かに福音であったのに
なにひとつ所有しなくても

我々こそすべてだったのに

屈折角で太陽を焦がそうとしたのは
燃え滓で占いがしたかったから

明日太陽が出るかどうか

易を立てたのは